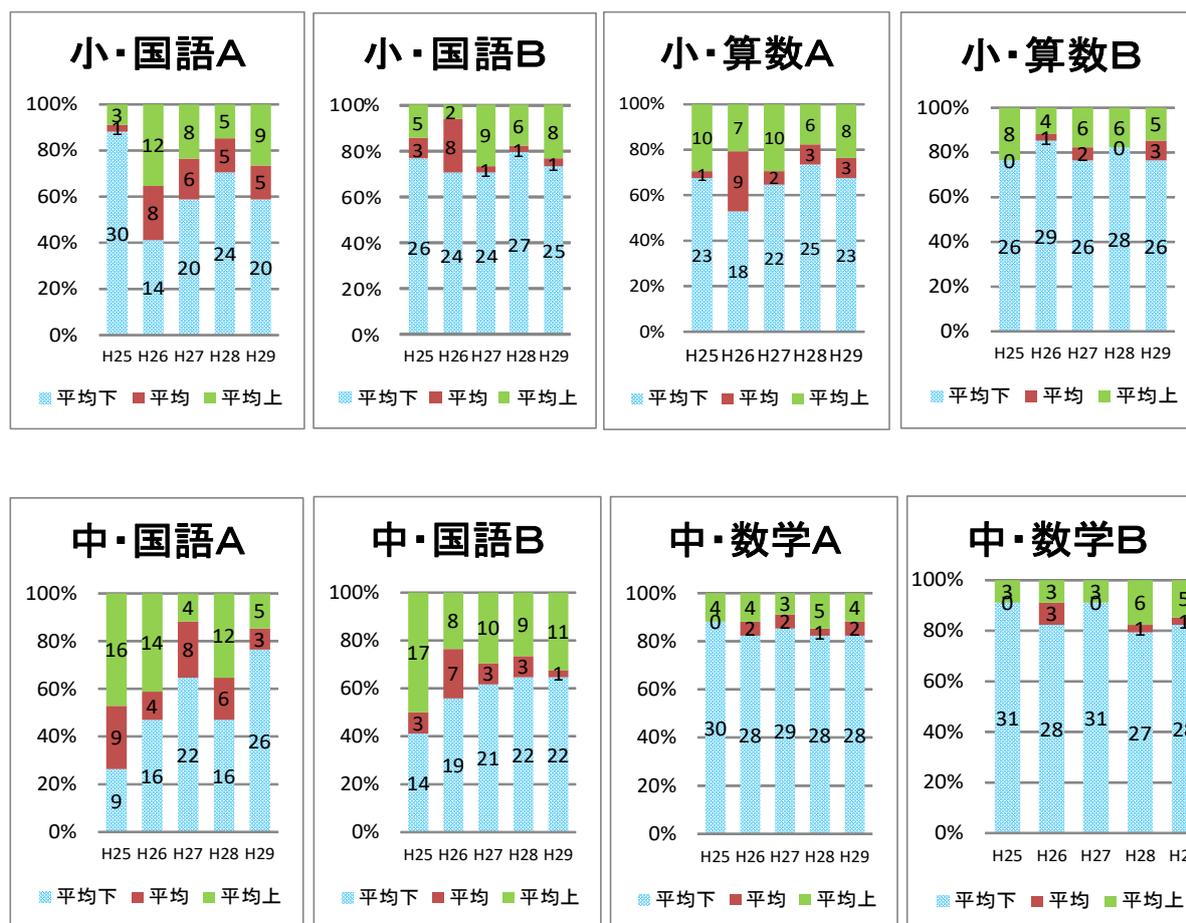


学力向上で成果を挙げている事例について

1 過去5年間の全国学力・学習状況調査の状況について (直近データ 全国平均と比較した34市町村の分布)



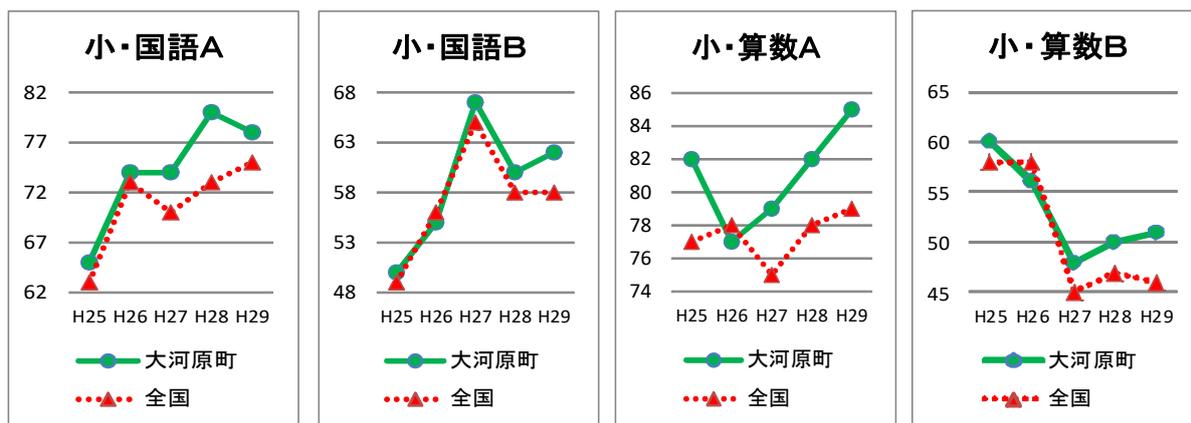
- 県教育委員会としては、小学校段階の基礎学力の定着が重要であることから、成果を挙げている小学校の具体的な取組事例を紹介し、各学校で自校化できるよう促している。

昨年度は、町独自に取組を進め、成果を挙げている大河原町を代表し、各管内ごとの校長会において、大河原小学校長から学力向上に係る取組事例について講話を行った。

2 大河原町教育委員会の取組

(1) 過去5年間の全国学力・学習状況調査の状況について

【縦軸は正答率 (%)】



(2) 具体的な取組

【大河原町の確かな学力育成のための施策】

- ① 基礎的・基本的な学習の充実
- ② 活用する力を育成する取組の推進
- ③ 言語力の育成・言語活動の充実
- ④ 国際理解教育, 情報通信教育の推進

※1 大河原町の具体的な施策「学力向上策「5本の矢+1」

- ① 標準学力調査年2回(4月, 12月)の活用。
- ② 問題データベースの活用(東京書籍:小中5教科分)
- ③ 家庭学習の手引の活用(下敷きに印刷, 使用させる)
- ④ ゲーム, 携帯, スマホの使い方「おおがわらルール」の設定
- ⑤ おおがわら暗唱読本「寿限無」の活用
- +1 ICTの活用「MIYAGI Style」の推進

【大河原町の具体的な対策】

- ① 学力向上策「5本の矢+1」(※1)の継続による基礎学力の定着
- ② 全国学力・学習状況調査の全国平均正答率を上回るための方策
- ③ おおがわら算数チャレンジ・数学オリンピック事業の継続と他教科への発展
- ④ 暗唱読本等を活用した言語活動の充実
- ⑤ 外国語教育充実に向けたALT配置継続と活用の充実
- ⑥ ICT教育への先進的取組(タブレットPC配置促進)



【大河原小学校の取組】

① 児童の実態

[対象] 第6学年 児童141人 (4月)

[設問] 学習系の塾に通っていますか?

【大河原小学校6年生の通塾の状況】

通っていない 108人 (77%)	週1: 17人	週2: 16人
	12%	11%

② 取組の実際

取組のキーワード

「みんなで」・「意識化」・「PDCA」

@教室

① 目指す児童像

- 子供，教師，保護者で共有



【校長自らが全校に働き掛ける】

② 学習規律の統一

- どのクラスでも，同じルール



(あいさつ，板書，ノート，掲示等)
子供たちも先生(教科担任，経験の少ない先生)も迷わない

【板書も学校で統一したものに】

③ 学習進度の目安

- 2月には新しい学習予定内容を終え，復習時間を確保

⑤ 読書の奨励（読解力向上）

- 学年経営目標
- 図書室の環境整備

④ あいさつ・学校不適応（いじめ，不登校）の防止

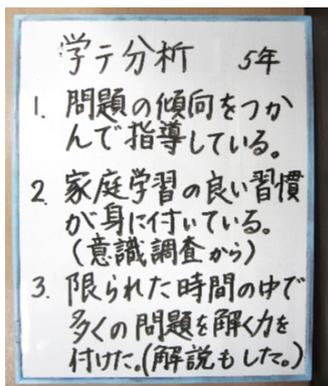


【あいさつもしっかりと】

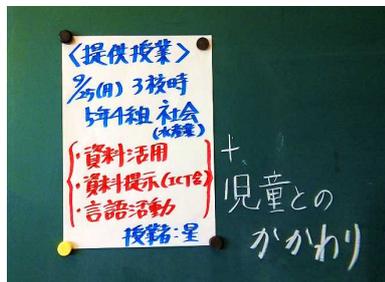
@職員室

① 校内研究の推進

- 全国学力調査問題を全教員で解く
- 日常的な授業提供
- 打合せ（週1回）の中でも短時間で話し合い



【打合せ用ボード】



【授業提供を知らせる掲示】

② 学校経営方針の共有化

- 目標を持つ（評価）
- 意欲を高める（輪と和）
 - 人事評価の目標として
 - 会議の場で，日常で

@家庭

◎ 家庭との連携・協力

- 家庭学習の時間と課題を決め，カードに書かせてから下校
- 宿題は毎日

- 大河原小学校では，校長のリーダーシップのもと，一体的な推進体制を構築し，授業改善に取り組んできたところ，大きな成果が得られた。今後は，このような取組を他の市町村や中学校にも促していく。